

熊本支部の課題とアクションプランについて

令和3年9月15日

令和3年度 第1回 健康づくり推進協議会



全国健康保険協会 熊本支部
協会 けんぽ

1. 健診結果から見る熊本支部加入者の健康課題…… P 2
～協会けんぽ支部別スコアリングレポートより～

2. 保険者機能強化アクションプラン（第5期）の概要… P 4

3. 熊本支部 K P I（重要業績評価指標）…… P 5

4. 令和3年度熊本支部保健事業における主な施策…… P 6

【参考】令和元年度以降の診療報酬等の推移…… P 7
（コロナ禍による保険診療受診行動への影響）

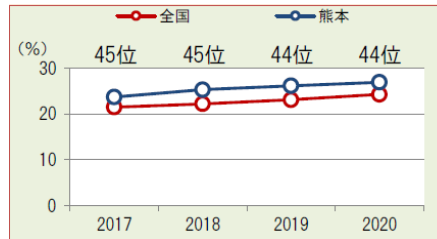
【別冊 参考資料】令和2年度 医療費の動向（厚生労働省ホームページより）
～概算医療費の年度集計結果～

1. 健診結果から見る熊本支部加入者の健康課題

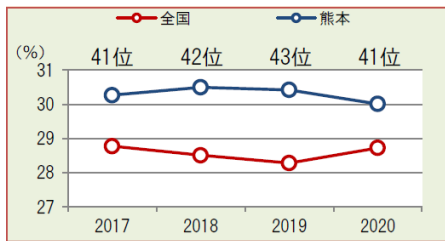
(1) 2020年度支部別スコアリングレポート

生活習慣病リスク保有者の割合（男性）

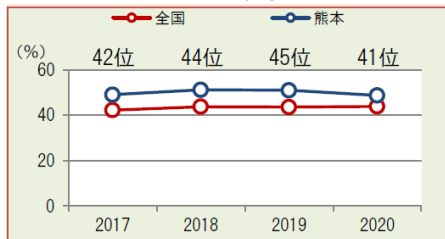
メタボリスク



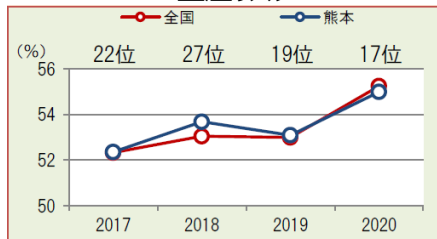
脂質リスク



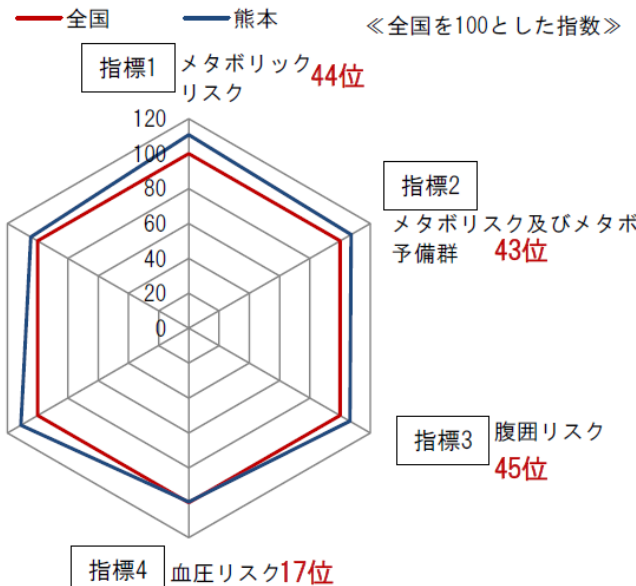
代謝（血糖）リスク



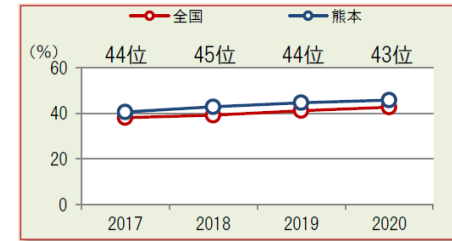
血圧リスク



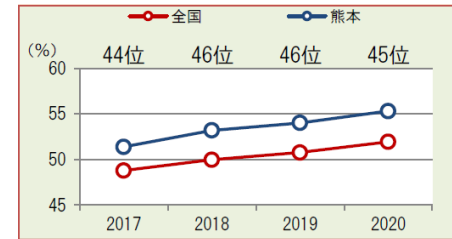
指数は低い方が
良い状態です



メタボ予備軍



腹囲リスク



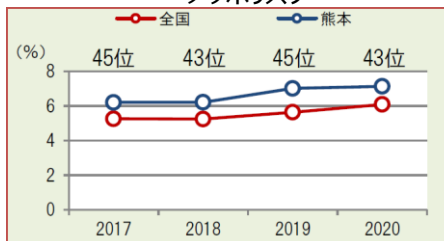
血圧リスクで改善があるが
全国平均と同じ傾向であり
その他に改善は見られない

1. 健診結果から見る熊本支部加入者の健康課題

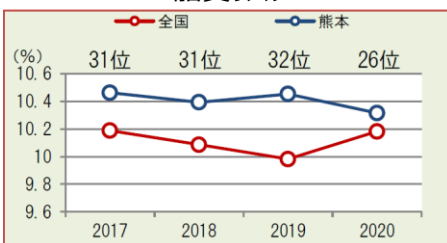
(1) 2020年度支部別スコアリングレポート

生活習慣病リスク保有者の割合（女性）

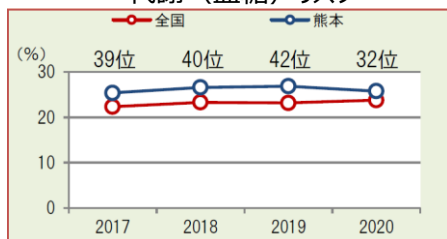
メタボリスク



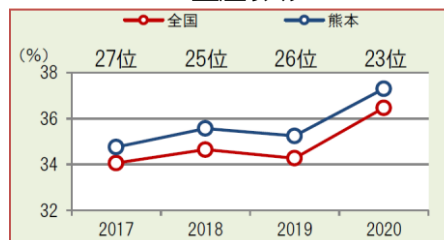
脂質リスク



代謝（血糖）リスク



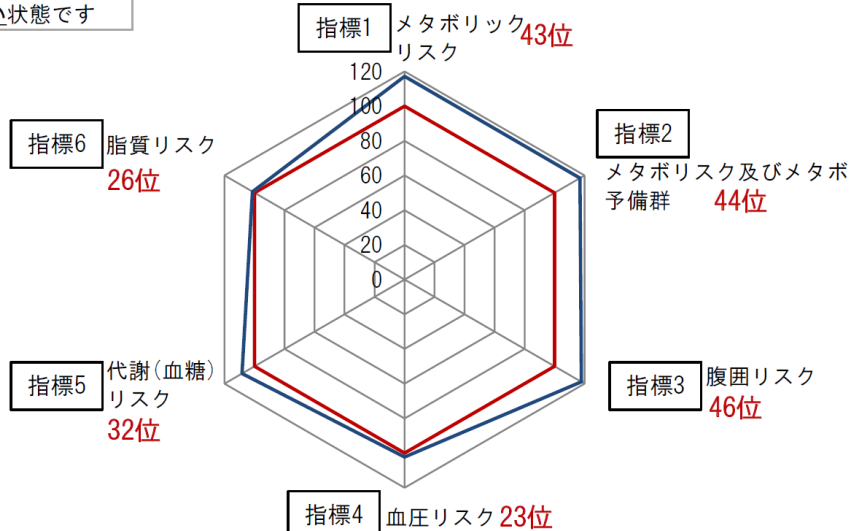
血圧リスク



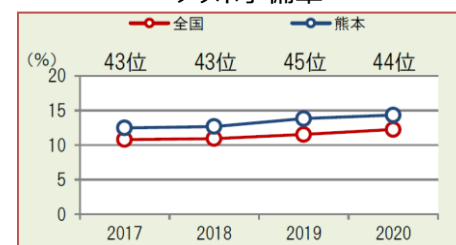
指数は低い方が
良い状態です

— 全国 — 熊本

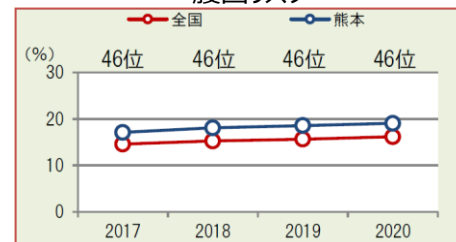
《全国を100とした指数》



メタボ予備軍



腹囲リスク



男性と比べて
脂質リスクが若干良いのみ

2. 保険者機能強化アクションプラン（第5期）の概要

（1）協会けんぽ全体の保険者機能強化アクションプラン

- ◆ 保険者機能強化アクションプラン（第5期）※において、協会における保健事業については、令和3年度から5年度までの3年間、「特定健診・特定保健指導の推進」、「重症化予防の対策」、「コラボヘルスの推進」の三本柱で取り組むこととしています。

※保険者機能強化アクションプラン（第5期）：令和3年度から5年度まで（3年間）の協会けんぽの行動計画

保険者機能強化アクションプラン（第5期）の主な取り組み

特定健診・特定保健指導の推進

- 特定健診実施率、特定保健指導実施率の向上
- 被扶養者の特定健診については、がん検診との同時実施など地方自治体との連携を推進し、実施率の向上を図る
- 事業者健診データの取得率向上に向けた新たな提供・運用スキームの確立
- 特定保健指導の質の向上

【KPI（令和5年度末）】

生活習慣病予防健診実施率 : 63.9%以上
事業者健診データ取得率 : 9.6%以上
被扶養者の特定健診実施率 : 35.0%以上
被保険者の特定保健指導実施率 : 36.4%以上
被扶養者の特定保健指導実施率 : 10.0%以上

重症化予防の対策

- 現役世代の循環器疾患の重症化予防対策として、LDLコレステロール値などの検査値等にも着目した受診勧奨の実施

【KPI（令和5年度末）】

受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合 : 13.1%以上

コラボヘルスの推進

- 事業所カルテや、健康宣言のコンテンツ及びプロセスの標準化
- 身体活動・運動に着目したポピュレーションアプローチ手法の確立や個別指導手法の検討
- メンタルヘルスの予防対策の充実の検討

【KPI（令和5年度末）】

健康宣言事業所数 : 70,000事業所以上

3. 熊本支部 K P I（重要業績評価指標）

（１）令和２年度KPI（重要業績評価指標）達成状況

＜達成状況＞ ○：目標達成、×未達成

項目	KPI	実績（全国平均）	達成状況
I. 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	生活習慣病予防健診受診率を 60.7% 以上とする	58.6% （51.0%）	×
	事業者健診データ取得率を 8.0% 以上とする	8.5% （8.0%）	○
	被扶養者の特定健診受診率を 28.0% 以上とする	21.6% （21.3%）	×
II. 特定保健指導の実施率の向上	特定保健指導の実施率を 30.8% 以上とする	31.7% （15.4%）	○
III. 重症化予防対策の推進	受診勧奨後３か月以内に医療機関を受診した者の割合を 12.9% 以上とする	10.9% （10.2%）	×

（２）令和３年度KPI

項目	KPI
I. 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	生活習慣病予防健診受診率を 63.0% 以上とする
	事業者健診データ取得率を 11.0% 以上とする
	被扶養者の特定健診受診率を 28.5% 以上とする
II. 特定保健指導の実施率の向上	特定保健指導の実施率を 34.1% 以上とする
III. 重症化予防対策の推進	受診勧奨後３か月以内に医療機関を受診した者の割合を 12.0% 以上とする

① 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上

- ＜被保険者＞ 生活習慣病集団健診を設定し未受診事業所と個人へ勧奨【強化】
事業所からの事業者健診結果（紙）写しの取得【継続】
- ＜被扶養者＞ 協会主催集団健診の実施【強化】

② 特定保健指導の実施率の向上

- ＜被保険者＞ ICTを活用した遠隔面談の拡大【強化】
初回面談後の継続支援にかかる外部委託【新規】
- ＜被扶養者＞ 協会主催集団健診の当日初回面談の実施【強化】

③ 重症化予防対策の推進

- ＜被保険者＞ 事業所を通じた本人宛電話による要治療者への受診勧奨【継続】
熊本県歯科医師会と連携した生活歯援プログラム【規模縮小し継続】

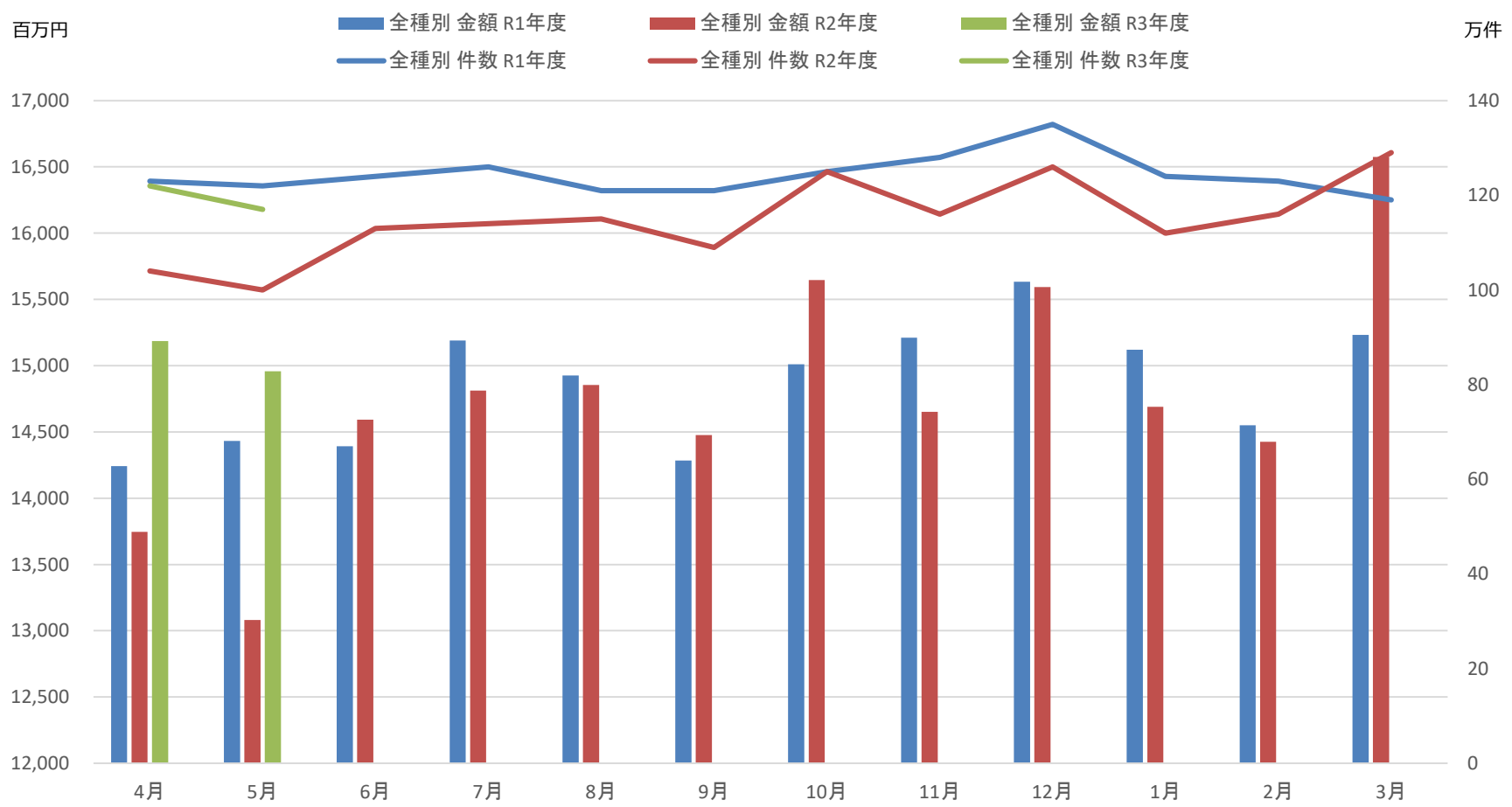


コロナ禍により、「被扶養者の健診」、「健診の後日に協会けんぽ保健師が行う特定保健指導」が苦戦を強いられています。

(1) 全種別（医科、歯科、調剤、訪問看護）合計等

つまりコロナ禍による保険診療受診行動への影響

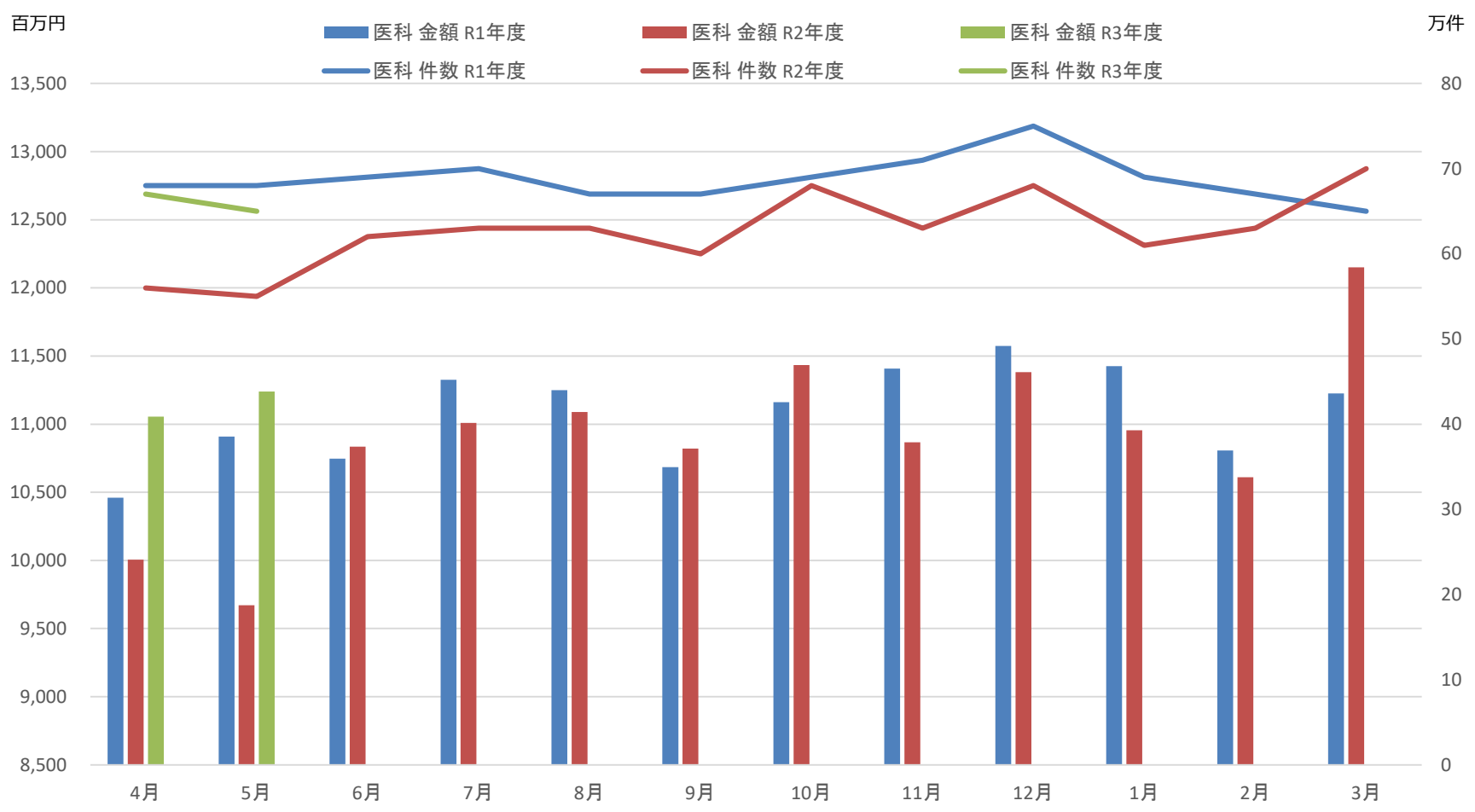
(協会けんぽ以外も含む。金額ベースで協会けんぽが全体の約56%)



金額ベースでは令和2年4月-5月の減少が顕著。

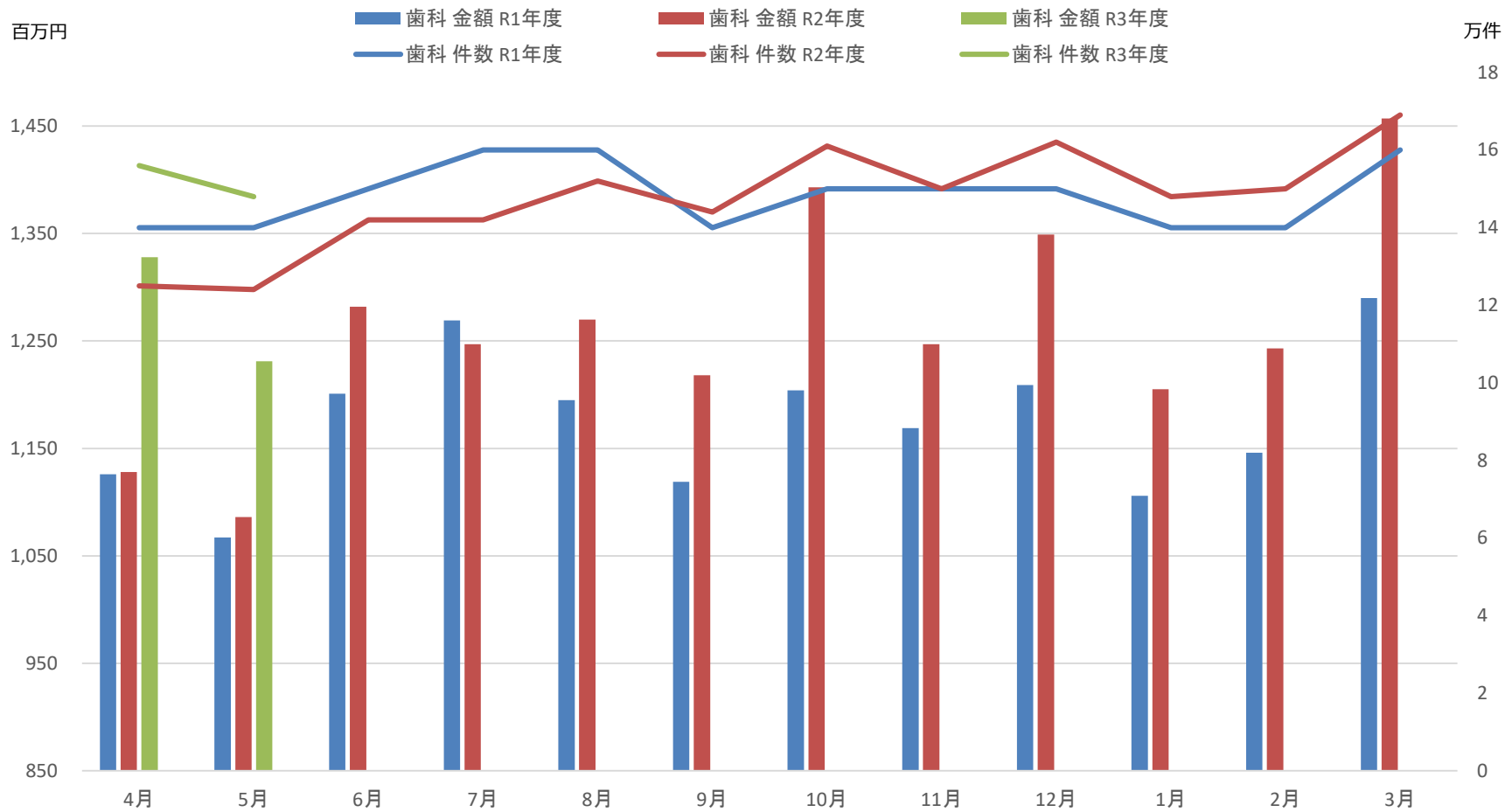
件数ベースでは令和2年度は3月以外全月で前年比減少。

(2) 医科レセプト



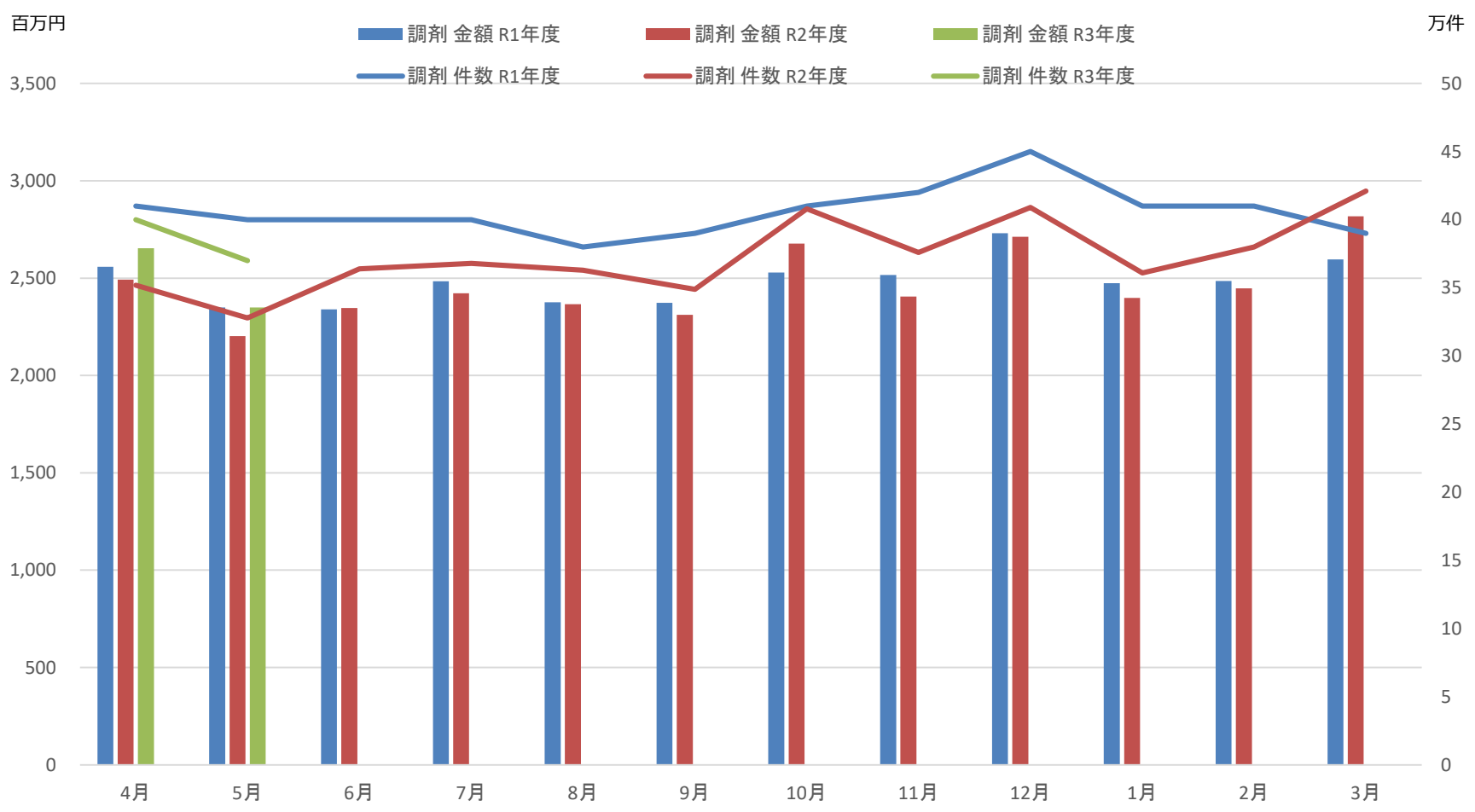
レセプト全種別に占める医科レセプトの割合が多いこともあり、傾向は全種別合計と類似している。

(3) 歯科レセプト



金額ベースでは令和2年度に前年比で減少は見られない。
件数ベースでは8月まで前年比で減少していたが9月以降伸び。

(4) 調剤レセプト



調剤レセプトは他に比べてコロナ禍の影響は小さい。